

新型インフルエンザ・パンデミック時における通勤輸送削減に係る新聞等の報道について

平成20年12月12日

国土交通省 国土交通政策研究所

国土交通政策研究所においては、新型インフルエンザ・パンデミック（大流行）時の感染拡大防止を目的として、都市圏鉄道の通勤輸送について、乗客同士を1～2m間隔をあけた乗客輸送の実施可能性と効果の検証をする調査研究を行っていることは事実であります。

新聞等の報道では、関係者に進捗状況を説明する中で、使用した暫定的な試算（更に精査を要するもの）の一端が取り上げられ、あたかも中間報告がとりまとめられたかのようなものとなっておりますが、報告書としてそのようにとりまとめられたものはありません。